

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

- ◇言葉の特徴や使い方に関する事項のうち、心情を表す語句についてよく理解できている。
- ◇話すこと・聞くことにおいて、目的や場面に応じて質問する内容を検討することができている。
- ◆情報の扱い方に関する事項において、情報と情報との関係について理解することに課題がある。
- ◆書くことにおいて、叙述の仕方とその意図を捉えることに課題がある。
- ◆読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

○漢字を文章の中で使い慣れるためには、国語を中心に、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得させるとともに、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことができるよう、教科等横断的に指導することが必要である。一人一台端末等で文字入力を行う場合も、適切な漢字を選択できるよう、意味や用法、文脈上適切か等について確認するよう指導する。

情報の扱いに関する事項

○話や文章に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、自分の持つ情報（既知の知識・経験等）との関係を明確にして話や文章で表現したりするために、「原因と結果」「意見と根拠」「具体と抽象」などの基本的な情報と情報の関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする活動をとおして捉えていくことが大切である。国語科だけでなく、教科等横断的に指導していくことが効果的である。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

○話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することが求められている。話の内容を正確に捉えるには、会話の目的や状況を意識しつつ、話の展開を捉える（話題が深まっているのか、新たな話題に転換されているのか等）ことが重要である。また、聞き手側として話し手に質問する際には、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問できるように指導することが大切である。

書くこと

○自分の考えを伝える文章を書くためには、自分の考えと考えを支える根拠を文章の中に記述する必要がある。根拠が適切か確認できるようにするとともに、考えと示す事例等の関係を明確に記述するための表現を身につけられるよう指導することが大切である。

読むこと

○文章を正しく理解するためには、構造と内容の把握が重要であり、これは話を聞くときや、文章の構成を検討することにもつながる。このためには、必要な情報に着目するだけでなく、文章の構成や展開、表現の効果についても着目して文章の要約を行い、さらに文章と要約の内容を、着目した部分に基づいてその関係性を説明する活動を取り入れるとよい。調査問題全般においても、各資料や文章と設問の内容を理解するだけでなく、設問の表現に着目し、各資料や文章との関係性を正しく理解できることが求められている。

